

「第65回人権週間」・「人権について考える県民運動強調旬間」について

自由及び平和の基礎となる基本的人権を確保するため、世界の全ての人々と全ての国々とは達成すべき共通の基準として1948年(昭和23年)12月10日の国連総会において、「世界人権宣言」が採択されました。国連では採択日である12月10日を「人権デー」と定め、加盟国及び関係機関に対し人権擁護活動を推進するための各種行事を実施するよう要請しています。日本でも12月4日から10日までの一週間を「人権週間」として、世界人権宣言の意義を訴えるとともに人権尊重意識の普及高揚を図るため全国各地で啓発活動が行われます。

長野県では平成22年2月に人権政策推進基本方針を策定し「人権が尊重される長野県づくり」を掲げ、「人間の尊厳」を原点に一人ひとりの個性や多様性を尊重し、すべての人が互いに支え合いながら、共に生きる社会の実現を目指し、12月1日から10日までを「人権について考える県民運動強調旬間」に設定し、様々な啓発活動が展開されます。

町では9月から10月にかけて「分館人権学習会」を全33分館で開催し、「お互いの人権を尊重し、人と人とのつながりを大切にしたい町づくり」を地域で学び、共に考える良い機会となりました。また、12月7日には、人権教育の推進と啓発を図るため、老人福祉センターにおいて「第36回人権を考える町民大会」を開催します。大勢の皆様のご来場をお願いいたします。

21世紀は人権の世紀と言われています。すべての人々の人権が尊重され、平和で明るい町づくりを実現しましょう。

図書室だより

お願い

返却期限は守りましょう。本の予約待ちをしている人もいますので借りた本は期限内に返却をお願いします。

教育委員会

新着図書



「北の街物語」

内田 康夫 (著) 中央公論新社 (出版)

彫刻家の自宅から「妖精像」が消えた。同じ頃、荒川河川敷で絞殺死体が見つかる。一見何の繋がりもない二つの事件に、浅見光彦は奇妙な共通点を見つける。事件をひもとく先に浮かび上がる真実とは何か。

「遺産」 The Legacy

笹本 稜平 (著) 小学館 (出版)

水中考古学を専攻する興田真左人は、400年前、祖先・正五郎とともに沈んだスペイン船「アンヘル・デ・アレグリア」号を太平洋のど真中の海底で発見した。引き揚げの計画を練る真左人の前に、世界一のトレジャーハンティング会社がたちだかる。

「遠野ものがたり」

柳田 国男 (原作) 宗任 雅子 (著) 森田 幸子 (絵) PHP研究所 (出版)

柳田国男の名著「遠野物語」から怖くて面白くて印象的な7話を選び、さし絵を入れて膨らませた、世代を問わずに楽しめる新釈絵本。摩訶不思議な出来事が、口から口へと伝えられた「みちのく」の物語の世界へ。

「あんたがサンタ?」

佐々木 マキ (作) 絵本館 (出版)

困ったサンタクロースの実例集。乗り物酔いする…。日にちをまちがえる…。子ども部屋の壁に「サンタ参上!」と落書きをする…。ユーモアたっぷりのクリスマス絵本。

休室のお知らせ

館内清掃の為

12月14日(土)

年末年始休業

12月27日(金)午後1時

～1月5日(日)

お知らせ

「ちゅうりっぷの会」による

乳幼児のためのおはなし会

日時 12月18日(水) 午前10時30分～

場所 中央公民館 視聴覚室

対象 0歳児～

大型絵本・パネルシアターなど

親子でお楽しみください

図書室利用案内

開室時間

●月曜日～土曜日 午前9時30分～午後6時
(土曜日は午後5時)

●日曜・祭日 午後1時～午後5時

*お一人 4冊まで 2週間借りられます